

劇場・音楽堂等間ネットワーク構築支援事業  
東日本大震災 心の復興祈念コンサート

ヨハネス・ブラームス

# ドイツ・レクイエム

## EIN DEUTSCHES REQUIEM, OP45

〈字幕付き〉

[指揮]

ハンスイェルク・シェンベルガー

ソプラノ：秦 茂子

バス：ドミニク・ヴェルナー

[合唱]

盛岡バッハ・カンタータ・フェライン

仙台宗教音楽合唱団

山響アマテウスコア

岡山バッハカンタータ協会

[監修・合唱指揮] 佐々木 正利

[管弦楽]

岡山フィルハーモニック管弦楽団

残されて生きる

悲しむ人々は幸いである  
その人々は慰められるであろう

マタイ福音書第5章より

2016年 **3月6日(日)** 開演15:00(開場14:00)  
佐々木正利氏によるプレトーク 14:30~14:45

盛岡市民文化ホール 大ホール(盛岡市盛岡駅西通2-9-1 マリオス1F)  
<http://www.mfca.jp/shiminbunka/>

[前売料金] 指定席 S席4,500円 A席3,500円  
自由席 B席2,500円 (当日各500円増)

[m-Friends料金] 指定席 S席4,050円 A席3,150円 (B席は対象外)

※m-Friendsチケットは盛岡市民文化ホール、盛岡劇場、キャラホール、姫神ホールで、前売りのみのお取扱いとなります  
※未就学児は入場できません

◇11月4日(水)発売

[プレイガイド]

川徳、アネックスカワトク、フェザン、マリオスインフォメーション、  
岩手県民会館、江釣子 SC パル、プラザおでっこ、キャラホール、  
盛岡劇場、姫神ホール、盛岡市民文化ホール

お問い合わせ・チケット予約：  
盛岡市民文化ホール Tel.019-621-5100



# 東日本大震災 心の復興祈念コンサート

## 指揮：ハンスイェルク・シェレンベルガー

Hansjörg Schellenberger

1948年生まれ。13歳(1961年)からオーボエのレッスンを受ける。1965年17歳のときにドイツの音楽コンクールで1位になり、奨学生としてアメリカのインターローケン国際ミュージックキャンプに参加。1967年に学校卒業後、ミュンヘンとデトモルトにおいてオーボエ、指揮法、そして数学を勉強する。ミュンヘンのARDコンクール(1972年)を含む主要な音楽コンクールで入賞後、1975年から1980年までケルン放送交響楽団のソロ・オーボエ奏者となる。1980年1月から2001年夏までカラヤン指揮ベルリン・フィルのソロ・オーボエ奏者を務める。



Hansjörg Schellenberger

## 岡山フィルハーモニック管弦楽団首席指揮者

その後30年間のオーケストラ活動に終止符を打ち、指揮者、ソリストの仕事に焦点を当てるようになった。彼は長年に渡って世界的に有名なオーボエ奏者であり、1991年にはハイドン・アンサンブル・ベルリンを設立、芸術監督を務めている。また、ベルリン・フィルの団員として、彼はベルリンでコンサートをする全ての偉大な指揮者たちから音楽解釈や指揮法自体を学んでいた。1994年からは指揮者としての活動を開始、世界の著名なオーケストラから招かれており、日本でも多くのオーケストラに指揮者として出演。

## ソプラノ：秦 茂子

Shigeko Hata

国立音大、昭和音大大学院を経て2001年渡仏。フランス国立高等音楽院を満場一致の首席で卒業。2005年エクサンプロヴァンス音楽祭アカデミーに参加。2008年にエコール・ノルマル音楽院高等演奏家ディプロマ取得。これまでに、横山由美子、吉沢祐江、秋山理恵、ベギー・ブヴレ、スーザン・マノフオリヴィエ・エルブール、サビーヌ・ヴァタン各氏に師事。2003年ブーローニュ・ピランクール・ロータリーコンクールにて2位入賞。2007年リリ・ナディア・ブーランジェコンクールにて1位入賞。パリ国立高等音楽院在学中に、オペラ・デビュー。以来フランス各地で演奏活動を展開。2010年日本デビューを果たす。



Shigeko Hata



Dominik Wörner

## バス：ドミニク・ヴェルナー

Dominik Wörner

教会音楽・音楽学・チェンバロを学び声楽とオルガンのディプロマを取得、J.シュテンブリに師事。2002年ライプツィヒ・バッハ・コンクール優勝。C.コワン、ヘンゲルブロック、ヘレヴェッハ、ホーネック、S.クイケン等の指揮のもと世界各地のホール、国際音楽祭に出演している。バッハ歌唱で「深遠なバス」と評価されるほか、リートにおいてはフォルテピアノや映像との共演など多彩な表現を提唱。ルソーの幕間劇《村の占い師》ではタイトルロールを歌いオペラ・デビューも飾った。BCJでは2012年《パウルス》、2013年《ヨハネ受難曲》の独唱等で喝采を博している。日独リートフォーラム主宰。キルヒハイム音楽祭芸術監督。

## 盛岡バッハ・カンタータ・フェライン(合唱)

1977年「カンタータを歌う会」として発足。以来、一貫してJ.S.バッハの作品を中心としたドイツ・バロック合唱曲の研究、演奏を行っている。1991年ドイツにおいて「作品の語感、音、そして精神の完熟」という現地新聞の批評を受ける。合唱指揮者佐々木正利のドイツ・バロック音楽に対する卓越した見識に基づく、熱意溢れる指導の積み重ねがあり、H.リリング、H.ヴィンシャーマン、H.J.ロツチュ、J.ツィルヒ、岩城宏之等、世界的指揮者との共演を重ね、各指揮者より、ドイツ・バロック音楽を音楽的かつ人間的に表現できる合唱団として、高い評価を得るようになった。1998年から2007年にかけてH.ヴィンシャーマン指揮の下、バッハの四大宗教曲全てを演奏した。今世紀に入ってからは、ベートーヴェン「第九」、マーラー「復活」、モーツァルト「レクイエム」、ブラームス「ドイツ・レクイエム」、メンデルスゾーン「聖パウロ」等、バッハより後の時代の大曲にも取り組んでいる。

「ドイツ・レクイエム」は、一昨年8月ドイツのローテンブルクとロストック、11月盛岡、昨年2月仙台に於いて、2台のピアノとの共演による演奏会以来の取り組み。



監修・合唱指揮  
佐々木 正利

## 岡山フィルハーモニック管弦楽団

岡山フィルハーモニック管弦楽団は、岡山にゆかりのあるメンバーを中心に優れた演奏者で構成されたプロオーケストラで、岡山シンフォニーホールの完成を機に平成4年に設立。定期演奏会をはじめ、スクールコンサート、音楽鑑賞教室、親子deクラシック、依頼公演等、各地で数多くの演奏活動を実施し、地域に根ざしたオーケストラとして、音楽芸術普及・向上のために積極的に活動している。

平成14年創立10周年を迎えた東京での特別公演は高い評価を獲得。

平成25年4月より元ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団首席オーボエ奏者にして指揮者でもあるハンスイェルク・シェレンベルガー氏を首席指揮者に迎え、ますますの活躍が期待される。

当日、開演前の14:30~14:45にプレトークとして、監修・合唱指揮の佐々木正利氏より曲目解説や背景、聴きどころなどをわかりやすくお話しいただきます。

主催：(公財)盛岡市文化振興事業団、(公財)岡山シンフォニーホール、  
(公財)仙台市市民文化事業団、(一財)山形市都市振興公社  
共催：盛岡市、盛岡市教育委員会、盛岡バッハ・カンタータ・フェライン、岩手日報社  
後援：岩手県合唱連盟、岩手日独協会、NHK 盛岡放送局、IBC 岩手放送、テレビ岩手、  
めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、エフエム岩手、ラヂオもりおか

企画制作 (公財)岡山シンフォニーホール